

平成28年度予算の概要

未来へ続く



“発進” 予算



平成28年3月
北海道千歳市

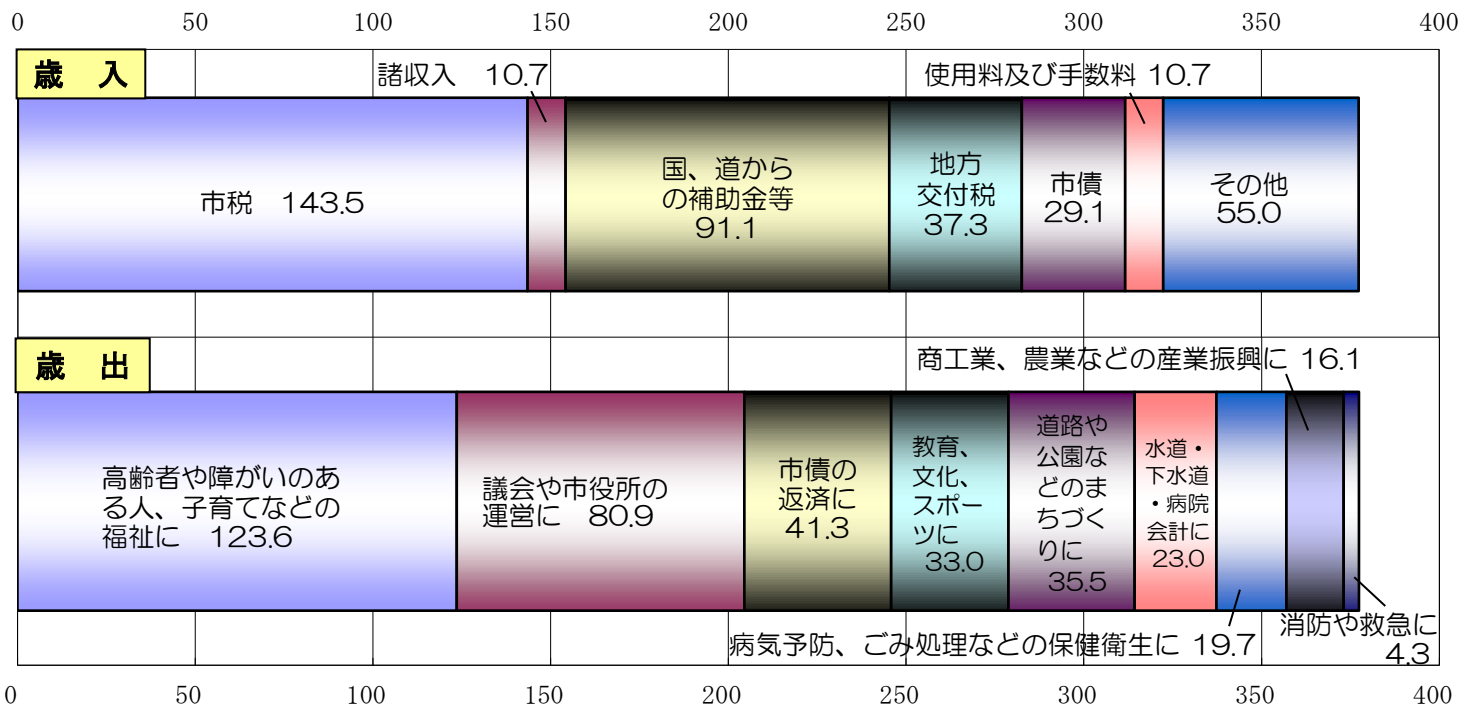
平成28年度各会計予算の状況

全会計 686億5千万円

一般会計
377億4千万円

税金などの収入で市民生活や教育、福祉などの基本的な事業を行う会計です。

(単位：億円)



特別会計
156億2千万円

料金や保険料などの収入で特定の事業を行う場合などに設ける会計です。

公営企業会計
152億9千万円

民間企業と同じように、独立採算性を原則としている会計です。

国民健康保険	96億8,775万円
土地取得事業	38万円
公設地方卸売市場事業	4,087万円
霊園事業	4,599万円
介護保険	49億2,400万円
後期高齢者医療	9億2,712万円

水道事業	32億3,651万円
下水道事業	51億7,383万円
病院事業	68億7,709万円



千歳市の一般会計予算を目的別に、 市民1人あたりの金額に置き換えると…？

1人あたり **39万3千円**

(平成28年度一般会計予算を、平成28年3月1日現在の人口95,928人で割ったもの。)

高齢者や障がいのある人、子育てなどの福祉のために
12万9千円



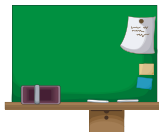
議会や市役所の運営のために
8万4千円



市債(借金)の返済のために
4万3千円



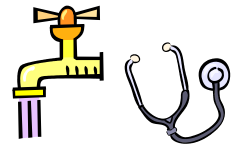
教育、文化、スポーツの振興のために
3万4千円



道路や公園などのまちづくりのために
3万7千円



水道・下水道、病院会計に
2万4千円



病気予防、ごみ処理などの保健衛生のために
2万1千円



商工業、農業などの産業振興のために
1万7千円

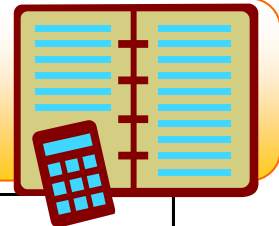


消防や救急のために
4千円



※千歳市の借金残高(約389億円)を市民1人あたりに換算すると、40万5千円になります。

市民1人あたりの金額を性質別に、 家計簿に置き換えると…？



千歳市の家計簿

支出		収入	
食費 (人件費)	6万7千円	給料 (市税)	15万円
光熱水費・電話代 (物件費)	5万8千円	諸手当 (国・道支出金)	9万5千円
医療費 (扶助費)	8万3千円	家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	7万7千円
仕送り・小遣い (補助費等、投資・出資、繰出金、貸付金)	8万8千円	同居家族からの収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	1万3千円
貯金の積み立て (積立金)	3千円	財産の運用による収入 (財産収入)	7千円
家の改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	5万1千円	貯金の活用 (繰入金、繰越金)	1万円
ローンの返済(元利) (公債費)	4万3千円	親類からの返済金など (諸収入)	1万1千円
		新たなローン借入 (市債)	3万円
	39万3千円		39万3千円

平成28年度の主な実施事業

1. あったかみのある地域福祉のまち

介護サービス提供基盤等整備事業費 6,130万9千円（新規） 要支援又は要介護状態となった場合でも、できる限り住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域密着型サービス事業所の計画的な整備を図ります。	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業費 27万8千円（新規） 身体障害者手帳の交付対象とならず、補聴器の給付が受けられない軽度・中等度の難聴児に対して、補聴器購入費等の助成を行います。
保育定員拡大等施設整備事業費 2億1,259万1千円（新規） 保育定員の拡大などを図るため、既存の保育所等の「幼保連携型認定こども園」への移行及び保育定員を拡大する事業者の施設整備に対して補助を行います。	緑小学校区学童クラブ新築整備事業費 252万7千円（新規） 既に定員を超えて受入を行っている緑小学童クラブについて、緑小学校近くの市有地に学童クラブ専用施設を新築し、受入定員を増加させることで地区の放課後児童が生活しやすい環境を提供します。平成28年度は現地測量、地質調査を行います。
休日夜間急病センター整備事業費 1億5,132万5千円 初期救急医療を必要とする市民が、夜間及び休日に安心して診療を受けられるよう、休日夜間急病センターを設置します。平成28年度は実施設計、建設工事を行います。	不妊治療費助成事業費 588万5千円 子どもを望む夫婦を支援するため、特定不妊治療（体外受精・顕微授精）費用の一部を助成し、経済的な負担を軽減します。また、平成28年度から新たに一般不妊治療（人工授精等）についても助成対象とするなど制度を拡充します。

（他の主な実施事業）

- ・コミュニティセンター備品整備事業費
- ・町内会等備品整備事業費
- ・年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費
- ・高齢者・障害者福祉サービス利用券助成事業費
- ・私立特定教育・保育施設運営支援事業費
- ・北陽小学校区学童クラブ新築整備事業費
- ・町内会館整備事業費
- ・町内会育成事業費
- ・生活困窮者自立支援事業費
- ・障がい者就労支援事業費
- ・地域型保育給付施設運営支援事業費
- ・結婚活動応援事業費 など
- ・町内会館改修事業費
- ・臨時福祉給付金給付事業費
- ・自立支援給付事業費
- ・医療体制整備事業費
- ・予防接種推進事業費

2. 人と地球にやさしい環境のまち

駅周辺施設LED照明整備事業費	455万円（新規）	防犯灯LED化促進事業費	6,741万5千円
<p>駅連絡通路などに設置している照明器具を、消費電力が少ないLED照明器具に交換することにより維持管理費の縮減と温室効果ガスの抑制を図ります。平成28年度は南千歳駅連絡通路の照明器具を交換します。</p>		<p>町内会等が設置する防犯灯について、長寿命かつエネルギー効率に優れたLED灯の普及・促進を図るため、LED化更新費の一部を補助することにより、省エネ・節電対策の推進や更なる防犯対策の充実を図ります。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・自然環境保全事業費
- ・道央廃棄物処理組合経費
- ・有害ごみ処理経費
- ・エコチャレンジ補助事業費
- ・環境センター管理運営業務経費
- ・第3埋立処分地嵩上げ事業費 など
- ・資源回収事業費
- ・エコアクション推進事業費

3. 安全で安心して暮らせるまち

プレミアムリフォーム券発行事業費	1,018万1千円	防災行政無線デジタル化整備事業費	738万8千円
<p>市民の住宅環境整備の促進や市内建設業の活性化を図るため、住宅のリフォーム工事などの支払いに利用できる、10%のプレミアム付きリフォーム券を発行します。</p>		<p>災害情報等の伝達において、高品質な音声放送や双方向の通信を行うため、防災行政無線のデジタル化を行います。平成28年度は基本設計を行います。</p>	
防災備蓄倉庫整備事業費	1,071万5千円	小学校非構造部材耐震化事業費	477万5千円
<p>「千歳市災害応急対策用品配備計画」に基づき、各指定避難所へ物資の配備を進めるため、備蓄スペースを有しない指定避難所について、施設の屋外に防災備蓄倉庫を計画的に設置します。</p>		<p>近年の大規模な地震では、天井材の落下など、いわゆる「非構造部材」の被害が発生していることから、児童・生徒の安全及び災害時の避難所の役割を確保するため、非構造部材の耐震化を図ります。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・交通安全教育施設備品整備事業費
- ・C経路舗装補修事業費
- ・防災学習交流施設展示設備更新事業費
- ・共同受信区域アンテナ設置助成事業費 など
- ・除雪車両等購入事業費
- ・公営住宅建替事業費（みどり団地）
- ・消防車両等更新事業費
- ・防雪柵整備事業費
- ・自主防災組織育成事業費
- ・消防総合庁舎改修事業費

4. 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

学力向上推進事業費	3,031万7千円（新規）	小・中学校ICT機器等整備事業費	5,202万7千円
<p>学力向上検討委員会の活動を支援し、学力の向上のための授業改善を進めるとともに、学習支援員を配置し、習熟度別少人数指導など個に応じたきめ細かな学習指導を行い、学力の向上を図ります。</p>		<p>全中学校にデジタル教科書を整備し、ICT機器を活用した教育の情報化を推進します。また、小中学校の少人数指導教室用及び特別教室用として、電子黒板及び実物投影機等のICT機器を整備します。</p>	
英語活動推進事業費	192万3千円（新規）	放課後子ども教室推進事業費	37万4千円（新規）
<p>現在、小学校が任意で行う小学1～4年生の英語学習を必須化するとともに、小学6年生全員を対象に英検I・BAテストを実施し、英語力、学習意欲の向上を図ります。</p>		<p>児童館未設置校区である緑小学校で放課後子ども教室を開設し、同校の児童を対象に、多様な体験・活動プログラムを提供します。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・友好親善都市・長春市マラソン交流事業費
- ・国際交流事業費
- ・スクールバス運行経費
- ・教職員管理職住宅建替事業費
- ・小・中学校大規模改修事業費
- ・温水プール改修事業費
- ・青葉公園庭球場改修事業費
- ・国指定史跡整備事業費（キウス周提墓群） など

5. 活力ある産業拠点のまち

新規就農者特別支援事業費	675万円	商業等活性化事業費	851万9千円
<p>多様な農業の担い手を育成・確保するとともに、就農後の経営が不安定な就農者の所得を確保するため、国が行う「新規就農・経営継承総合支援事業」の年齢要件（45歳未満）に該当しない45歳以上65歳未満の独立・自営就農者に給付を行います。</p>		<p>商業等の活性化を推進するため、商工会議所が実施する中心街にぎわい創出事業等に要する経費の一部を補助します。また、平成28年度から新たに事業者等が実施するにぎわい創出を目的とするイベント等について、一定の条件を満たす中心商店街以外の事業者の共同事業に対し、助成を行います。</p>	
観光スポーツ連携事業費	424万6千円	支笏湖ヒメマスふ化場附帯施設整備事業費	1,213万円（新規）
<p>スポーツ合宿・大会等の誘致を推進するため、スポーツ施設利用料の減免の拡充など、支援制度の充実に取り組むとともに、関係機関・団体等と連携し、ゴルフツーリズムの促進を図ります。</p>		<p>支笏湖ヒメマスふ化場への湧水の安定的な供給及び流量の増加による稚魚の成長促進を目指して、老朽化した導水管の全面改修を行います。平成28年度は測量調査、実施設計を行います。</p>	

（他の主な実施事業）

- ・分譲地販売・管理事業費
- ・若者・女性等就職サポート事業費
- ・経営安定化対策事業費
- ・多面的機能支払事業費
- ・企業誘致推進事業費
- ・立地企業振興事業費
- ・商店街振興事業補助事業費
- ・観光PR事業費
- ・外国人旅行者誘客事業費
- ・支笏湖温泉管理経費
- ・サーモンパーク整備事業費 など

6. 都市機能が充実したまち

地域公共交通利用環境改善事業費	597万3千円（新規）	千歳川桜プロジェクト事業費	840万円（新規）
バス路線再編に併せ、利用者の利便性向上を図るため、千歳科学技術大学と連携し、スマートフォンによりバスの走行位置情報や交通情報等を受発信するバスロケーションシステムの導入を図ります。		千歳川沿いの河川緑地に重点的に桜並木を整備し、賑わいや憩いの空間を創ります。	

（他の主な実施事業）

- ・バス路線確保対策補助事業費
- ・千歳市交通戦略プラン推進事業費
- ・道路ストック整備事業費
- ・市内公園整備事業費
- ・公共施設等総合管理計画策定事業費
- ・道路舗装補修事業費
- ・新千歳空港整備事業費
- ・新千歳空港24時間運用枠拡大に伴う周辺環境対策事業費 など
- ・市道整備事業費
- ・橋梁長寿命化対策事業費
- ・緑化推進事業費

7. 市民協働による自主自立の行政経営

社会保障・税番号制度対応事業費	8,855万5千円	住民票等コンビニ交付事業費	3,717万8千円（新規）
社会保障・税番号制度に対応するため、住民基本台帳システムなどの改修等を行い、行政手続きにおける市民負担の軽減、利便性の向上及び行政運営の効率化を図ります。		住民票や印鑑証明書など各種証明書のコンビニ交付を導入し、自宅や職場の近く、出張先など交付拠点を拡大することにより市民サービスの充実を図ります。	

（他の主な実施事業）

- ・自衛隊体制強化要望活動事業費
- ・ふるさと納税推進事業費
- ・市民協働推進事業費
- ・自衛隊連絡調整業務経費 など
- ・ひと・まちづくり助成事業費

千歳市の財政に関するお問い合わせは・・・

千歳市総務部財政課

Tel : 0123-24-0541 (直通)

Mail : zaisei@city.chitose.hokkaido.jp